

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認年月日 2018.03.27

東京都作業部会確認年月日 2018.03.30

事業名 オーバーレイブック更新等業務委託

案件名 同 上

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠合意の通り、当該事業は会場関係の「オーバーレイおよび仮設等のインフラの整備」の一環であり、会場整備に係る共通費について、オリ経費は、会場数按分により組織委員会（国・民間所有施設分）と都（都・その他自治体所有施設分）で分担し、パラ経費は、組織委員会、都、国で、2：1：1で分担。</li> <li>・V2 全体経費でも同様の考え方で計上されている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーレイブックは、会場の仮設オーバーレイ整備について、IOC、IF ほか各 FA 等ステークホルダー等と検討・競技・確認する重要な図書として、IOC から作成を義務付けられているものである。</li> <li>・現在、IOC との協議により概ね 6 か月ごとに更新図面の作成を求められており、本年 3 月に基本設計の中で、OB v 3 を作成した。来年度は、9 月末に OB v 3.1、3 月末に OB v 4 を作成することが求められている。</li> </ul>	必要性

<p>妥当なものであること</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費については国土交通省の平成30年度設計業務委託等技術者単価による。</li> <li>・必要な人工については、各会場の仮設オーバーレイの規模及び仕様書の業務内容に応じて設定した。</li> <li>・基本設計が延長されている会場については、条件を勘案して人工を計上した。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は、長期に渡り大会の準備を行うオリンピック特有のものであり、類似の委託はない。</li> <li>・過去大会でも同様の図書を作成している。</li> <li>・IOCからは、各FAの要件、図面の定義、施設の諸条件などに精通した基本設計者を継続してOBの作成を委任するよう指示がある。</li> <li>・与条件を熟知した基本設計者に特命することにより、一貫した図面を作成することができ、組織委員会の対応、コストの効率化を図ることができる。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意で公費負担とされた仮設オーバーレイ整備に関するもので、IOCから求められている必須図書の作成に係る経費であり、公費負担の対象として適切であると考えられる。</li> </ul>	